



青研かわらばん

青研かわらばん
no. 74



かわらばん
アーカイブス



長岡鉄工業
青年研究会HP

【発行所】長岡鉄工業青年研究会【発行責任者】高尾 博仁【編集責任者】本田 恵亮
【編集者】小林 昂輝・久保 棕介・鈴木 敬子・布川 巧・渡辺 亮平
【事務局】新潟県長岡市表町3丁目1番8号 リナシエビル3 8階 長岡鉄工業青年研究会 TEL: 0258-36-6982
【制作】(株)Wonder 東京都葛飾区西新小岩4丁目1番1号 長崎ビル1階

新会長挨拶

新年度を迎えて

長岡鉄工業青年研究会 2026年度会長 **村山 広**



二〇二六年度長岡鉄工業青年研究会会長を務めさせていただくことになりました株式会社社横山銅鉄店の村山広です。一年間よろしくお願ひ申し上げます。
本年度は当会発足五十五周年を迎える記念の年です。躍動する現役会員の皆様と温かく支えてくださるOB会員の皆様と共に記念の年を迎えられましたことを心から感謝し、これからの長岡鉄工業の飛躍と発展の為、尽力してまいります。

たような効率よく平均的な結論を生み出すのではなく、思いのままに突っ走る情熱的な若さを胸に、自分の為、ひいては長岡鉄工業や地域の為にやりたいことを計画し、一人一人が信念をもって実行する気持ちが重要であると考え定めました。
一、五十五周年記念事業
当会発足五十五周年記念事業として、祝賀会と記念ゴルフコンペの開催を計画しております。祝賀会につきましては、「鉄起集會」と称し、「鉄」でつながる我々の業界が一丸となり長岡鉄工業の発展を目指す「鉄起集會」としてOB会員の皆様をお招きし、これまでの歩みを盛大に祝うと共に、これからの発展を願います。また、五十五周年記念ゴルフコンペでは豊かな自然の中で共に一日を過ごし、親睦をより深めたいと考えております。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

祝賀会「鉄起集會」

七月二十五日(土) ホテルニューオータニ長岡
五十五周年記念ゴルフコンペ
十月二十四日(土) 長岡カントリー倶楽部

二、長岡まつり平和祭慰霊神輿渡御 参加三十回記念

神輿渡御参加三十回を祝し記念法被の作製を行います。また、代々受け継がれたオリジナル神輿を担ぎ、「鉄工青研ここにあり」と体現する一体感のある堂々とした渡御ができるよう会員一同団結して運営してまいります。お忙しい中、例年ご協力くださるOB会員の皆様と一般参加者の皆様、本年度も共に熱く長岡の町を練り歩きたいと存じます。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

三、長岡鉄工業魅力発信事業

鉄工青研は鉄工業の多種多様な会社が集合し、会員一人一人が現場や経営に携わり、表面的な部分ではなく、自社の事をより詳しく理解し

ている人材が揃った団体です。この強みを活かして、就職を考える高校生や大学生に長岡の鉄工業に従事する事の魅力を伝え、近い将来就職してもらおう事を目標に事業を展開します。

本年度は各校に意見箱を設け、気軽に質問できる環境を整えます。常時学生からの鉄工業や就職に関する疑問や質問を受け付け、鉄工青研ならではの幅広く具体的な返答を行う事で、学生自身が働くイメージの輪郭をはっきりとさせていくことができます。また、座談会を催すことで、鉄工業の魅力や作品や映像を用いてより鮮明に伝えることができ、学生にとって自分に合う鉄工業を選ぶ指針となります。学生から会社の印象や「このような会社で働きたい」というフィードバックを得ることができ、我々にとっても新入社員を獲得するヒントを得る機会となります。今後の展望としましては、現役、OB会員企業への工場見学や鉄工業就職セミナー開催など、より魅力が伝わる事業を展開できれば良いと考えております。

この活動で鉄工青研が多種多様な長岡鉄工業と学生をつなぐハブとしての新たな価値を創造し、新入社員獲得という結果を出すことができれば鉄工青研へ社員を入会させるメリットになり得ると考えます。これは会員減少に歯止めをかけるだけでなく、長岡鉄工業の雇用促進、発展に繋がることができると考えております。

鉄工業界に限らず若年層の人口減少が問題となり、人材確保が大きな課題となっております。しかしながら急に人口が増えることはありません。目の前の問題に知恵や技術で立ち向かい、ピンチをチャンスに変え続ける事で産業の発展や経済の好循環、その先に人口の増加があると考えます。越えなければならぬ壁がたくさんある現状を自身の成長の好機と捉え、一年間前向きに会長としてやりたいことをやりきろうと思えます。このわがままに付き合っていたら現役会員の皆様、いつも温かく、厳しく見守ってくださるOB会員の皆様、ご支援、ご協力くださる関係機関の皆様、一年間どうぞよろしくお願ひ申し上げます。



長岡鉄工業青年研究会
二〇二五年度会長

高尾 博仁 たかお ひろひと

一年を振り返って

国中小企業団体中央
会より表彰を受ける
という大変光栄な機会
に恵まれました。これ

二〇二五年度会長を務めさせていただきました
きました、株式会社アオヤマテックスの
高尾博仁でございます。

「人生は選択の連続である」という言
葉があります。私たちは日々、大小さま
ざまな選択肢の中から何かを選び、決断
を重ねながら生きています。その一つひ
つの決断を新たな「チャンス」と捉え、掴
み取るかどうかは人それぞれであると考
えます。会長職のお話をいただいた際、ど
ちらかといえば人見知りの性格であるこ
とに加え、鉄工業界に携わってからの年
数も浅く、経験不足への不安がありまし
た。しかし同時に、これは「チャンス」であ
り「チャレンジ」でもあると前向きに捉
え、引き受けさせていただきました。

次年度に五十五年という節目を迎え
るにあたり、次世代をはじめ、会員同士、
OB会員、さらには他社・他団体・地域・
関係機関との「つながり」をより一層深め
ていくことが重要であると考え、本年度
の活動テーマを「つなぐ」と定め、各委員
長を中心に、常に前向きな姿勢で一つひ
とつの事業に意図を持ち、会員全員が足
並みを揃えて取り組んでまいりました。
その結果、新しい価値を創造し、新たな
可能性を未来へとつなぐ一年になったの
ではないかと感じております。また十一月
には、これまで継続してきたボランティア
活動や地域貢献事業などが評価され、全

もひとえに、諸先輩方をはじめ会員の皆
様のご尽力の賜物です。

次年度は村山会長のもと、会員一同が
一致団結し、五十五周年ならびに神輿渡
御参加三十回目という節目の年をさら
なる発展へとつなぐため、私も微力なが
ら会長を支え、会の発展に尽力してまい
ります。

結びに、この一年間お世話になりました
た関係各機関・団体の皆様、OB会員、
会員の皆様に心より感謝申し上げます。
誠にありがとうございました。



総務委員会

事業報告

委員長 **本田 恵亮** ほんだ けいすけ

昨年度に引き続き、総務委
員長二期目となる本年度は、
昨年の不甲斐なさや悔しき
を糧に、委員長としての成長
を目標に掲げ、「役員会およ
び他委員会の運営を確実に
サポートすることに加え、業
務の効率化を進める」という
思いでスタートしました。

総務委員会では、卒業式、
役員会の運営、人財育成セミ
ナー、忘年会、臨時総会・新年
会、そして定期総会の運営を
行ってきました。今年度
初めて開催した人財育成セミ
ナーでは、現役会員が講師と

なり、三回に分けて講習会を実施いたし
ました。先輩会員からのお話は非常に学
びが多く、会員にとって貴重な経験に
なったことと思います。

今年度実施した業務改善として、OB
会員の皆様のメールアドレスの取得と名
簿のスプレッドシート化を行いました。
これにより、今後当会からのご案内は主
にメールにてご連絡させていただきます。ご回
答においてもGoogleフォームを活
用したオンライン回答を実施すること
で、業務の効率化を図るとともに、FAX
の送り間違いや回答の紛失を防止で
きるものと考えております。なお、FAX
をご希望の方におかれましては、引き続
きFAXにてご案内いたします。本件に
関しましては、次年度からの運用に向け
て準備を進めております。OB会員の皆
様におかれましては、何卒ご理解、ご協
力を賜りますようお願い申し
上げます。

至らぬ点も多々あったかと存じま
す。役員および委員の皆様をはじめ、多
くの方々のご協力により、一年を全うす
る事ができましたこと、心より御礼申し
上げます。私自身にとっても、大変貴重
な経験となった二年でした。

◆卒業式

二〇二五年四月十二日(土)、迎賓會館
紡希にて、卒業式が行われました。
今年度は、優しく頼りがいがあり、青
研活動において重要な存在であった高坂
さん、丸山さんの二名を温かく見送る卒
業式を執り行うことができました。お二



人の門出に笑
顔と共に惜別
の思いが交錯
する場面に
は、会として
のつながりの
深さと、活動
の意義を改め
て実感いたし
ました。

懇親会では、卒業生との交流や思い出話に花が咲き、大変盛り上がりました。最後には、恒例の花道も行えたこと
で、感謝の気持ちで卒業生を送り出すこ
とができました。

御来賓 中越鋳物青年研究会
高崎 晋司 様
御卒業会員 二名
高坂 壮 様
丸山 栄紀 様

長岡鉄工業青年研究会 会員二十三名
(本田 恵亮)

◆人財育成セミナー

二〇二五年七月九日(水)・九月十日
(水)・十一月五日(水)、ハイブ長岡にて、
人財育成セミナーを行いました。
本事業は前記日程の三回に分けて、当
会の要職経験者から「長岡まつりの神輿
渡御」「周年事業の運営」「Google
ツールの基本的な使い方」と人財育成の視
点について」を学ぶ機会となりました。い



◆忘年会

二〇二五年十一月二十一日(金)、バルバラロッサにて、現役員による忘年会が開催されました。

一年間の成果や反省点・改善点を振り返りながら、笑顔が絶えないあつという間の会となりました。忘年会を通じて、日頃の活動を振り返り、あらためて会員の繋がりを深める貴重な機会となりました。

ずれの回においても、講師の皆様の実践知と参加者同士の活発な意見交換により、限られた時間の中でも将来の事業推進に関する示唆を得ることができました。本事業で得た内容は、今後の実務に活用してまいります。

(渡辺 亮平)



した。運営においては反省もありましたが、次回に活かし、より良い会を作れるよう改善いたします。

忘年会で一層深めた絆が、今後の当会の活動をより充実させるきっかけとなれば幸いです。ご参加いただいた会員の皆様、ご協力いただいた委員会の皆様に心より御礼申し上げます。

(渡辺 亮平・布川 巧)

◆臨時総会・合同新年会

二〇二六年二月六日(金)、ホテルニューオータニ長岡にて臨時総会と合同新年会を行いました。

臨時総会は、次年度の人事が無事に決議されました。村山次年度会長の五十五年への決意と来年度の活動への熱い思いを感じる事ができました。

中越鋳物青年研究会との合同新年会では両会の連携のもと、スムーズに会を進め時間内に終了する事ができました。御来賓や歴代会長の方々と終始にぎやかで華やかな会となりました。

ご参加いただいた皆様に心より御礼申し上げます。また、運営にあたり、多大なるご協力を賜りまして誠にありがとうございました。

臨時総会

出席

二十一名

委任状による出席

三名

オブザーバー参加者

(合計二十四名)
一名

合同新年会

御来賓

二名

長岡鉄工業青年研究会
歴代会長

長岡鉄工業青年研究会

十一名

長岡鉄工業青年研究会

二十四名

オブザーバー参加

中越鋳物青年研究会歴代会長

一名

中越鋳物青年研究会

十二名

合計五十名

(鈴木 敬子)



◆定期総会・卒業式

二〇二六年四月十二日(土)、迎賓會館
紡希にて、定期総会と卒業式を実施いたします。

事業報告

委員長 **水落 正樹**

二〇二五年度は「つなぐ」という基本方針のもと、当委員会にて地域貢献事業と研修事業の両面に注力し取り組んでまいりました。一年を振り返ると、会員一人ひとりの協力と挑戦が積み重なり、非常に充実した活動となったと感じています。

まず、地域貢献事業としては、「こどものまち In HAKKO TRIP」でのアルミ製ペンホルダー製作体験や、「ものづくりフェス」での板金戦闘機づくりなど、子供たちにもものづくりの魅力を伝える活動を継続して行いました。

普段触れることのない工具や素材に触れ、夢中で取り組む子供たちの姿から、ものづくりの持つ力を改めて実感する機会となりました。また、会員にとっても地域とのつながりを再確認し、学びを深める貴重な場となりました。

研修事業では、企業訪問や工場見学を通じて最先端技術に触れ、製造業の現場で求められる視点や知識を学ぶことができました。IoTやDXを活用した生産体制を拝見し、今後の業務改善や自社の取り組みに活かせる多くの気づきを得ることができました。

これらの事業を通じて、会員同士が協力しながら事業を形にしていく過程こそが、本年度の活動方針である「つな

ぐ」を体現していたと感じています。準備や運営において課題もありましたが、その一つひとつが次年度への財産となりました。

最後に、本年度の活動にご協力いただきました関係各位、そして積極的に参加し支えてくださった会員の皆様に心より御礼申し上げます。来年度も、より良い事業を創り上げられるよう、引き続き努めてまいります。

◆いばものみち In-HAKKO TRIP

二〇二五年十月十二日(日)、摂田屋地域で開催された「こどものみち In-HAKKO TRIP」に参加し、こどもたちを対象にアルミ製ペンホルダーの製作体験を行いました。当日は多くのこどもたちがブースを訪れ、会員が各所でものづくりの工程を丁寧にサポートしました。普段触れる機会の少ない工具を使ったりアルミ材を折り曲げ、仕上げには色塗りのやシールを用いることで、こどもたちは自分だけのオリジナル作品づくりに夢中になって取り組んでいました。

製作を通して、素材の特性や加工の面白さに触れてもらうことができ、鉄工業や製造業への関心を高める良いきっかけになったと感じています。また、会員とこどもたちが交流することで、地域とのつながりを再確認する貴重な機会にもなりました。

最後に、本事業の実施にあたりご協力いただきました関係者の皆様に、心より御礼申し上げます。

参加者

体験参加人数 約六十名
長岡鉄工業青年研究会 会員 十名
(真保 匠人)



◆研修旅行

二〇二五年十一月七日(金)から八日(土)の二日間にて研修旅行を実施しました。今年度は、株式会社不二越様の富山事業所と株式会社小松製作所様の粟津工場を訪問しました。

不二越様では多種多様な切削工具の製品紹介に加え、IoT搭載の新型ロボットアームを視察しました。自社の技術力を活かした事業展開を継続し、長年にわたって業界の地位を確立している事に深く感銘を受けました。

小松製作所様では建設機械の組立工場を見学しました。工場内は効率化を追求しており、作業者の一切無駄の無い動きとそれを可能にするDXを活用したシステムが随所に導入されていました。

今回、日本が世界に誇る企業の最先端技術と管理体制を学び、非常に有意義な研修旅行となりました。

最後に、本事業にご協力いただきました関係各社の皆様とご参加いただきました皆様へ心より御礼申し上げます。



参加者

長岡鉄工業青年研究会 会員 十七名
(山谷 和真)

◆長岡ものづくりフェス 2026

二〇二六年三月一日(日)、長岡ものづくりフェスに出展し、板金で作った部品を組み立ててオリジナル戦闘機を製作する体験を提供しました。

会場では、説明を真剣に聞き、自分の手で作品を完成させようと熱心に取り組む子供たちの姿が多く見られ、ものづくりに向き合う真剣さと創意工夫が随所に感じられました。

今回の出展を通じて、ものづくりの楽しさや達成感を味わっていただくとともに、将来の学びや職業に興味を持つきっかけとなっていれば幸いです。また、当会にとっても、子供たちの様子や来場者の反応から多くの学びと気づきを得る貴重な機会となりました。

今後、より充実した体験を提供できるよう内容を工夫し、地域の皆様に喜んでいただける活動を続けてまいります。ご多忙の中、ご協力いただきました皆様に心より御礼申し上げます。

参加者

長岡鉄工業
青年研究会 会員
(浅井 学)



事業報告

実行委員会

委員長 山本 友紀

どうしてもゴルフコンペの司会がやりたい!そんな邪な思いと謎の自信に満ち溢れてスタートした私の最終年度。無駄に大きな自信だけが先行し、事の重大さに気づくまでにはほとんど時間はかかりませんでした。高尾会長より「最後の花道を用意したから思い切り楽しんでほしい」と背中を押していただき、青研人生の集大成として拜命した実行委員長という役職は、そんな生半可な気持ちで務まるわけが無かろうとタイムマシンがあるならあの頃の愚考を改めさせたいところです。

これまで唯一未経験だった委員会、卒業年度まで委員長をさせるなんて(失礼、させていただけのなんて)私はつくづく幸運な男です。経験則で「なんとなく分かっているつもり」でも、実際に携わると想像以上に実務が多く、焦っては空回りし、暴走しそうになる私に対して、時折強烈なブレーキを踏んで道を正してくれた高尾会長、厳しさと温かさを織り交ぜながら迷いを断ち切ってくれた村山副会長、そして、そんなクセ強私にしっかりとついてきてくれた実行委員の仲間のおかげでなんとか一年が形になっていった気がします。一年を振り返ると、立派な場面よりも「いや、なんでそうなるんだ俺」という瞬間ばかり思い出されます。焦って転び、突っ走ってまた転び、そのたびに止めてくれる人、笑い飛ばしてくれる人、優しくスルーしてくれる人に支えられ、私は実行委員長になることができました。完璧とは程遠い委員長でしたが、ここで得られた経験は確かな財産です。結びとなりますが、本年度の活動にご協力いただいた関係各社・関係諸機関の皆さまに、心より御礼申し上げます。

◆卒業生追い出し

ゴルフコンペ・壮行会

二〇二五年四月二十六日(土) 柏崎カントリークラブにて卒業生追い出しゴルフコンペを実施いたしました。当日は晴天に恵まれ、和やかな雰囲気の中で卒業生との最後の思い出づくりができました。



表彰式では全員が景品を獲得し、終始笑顔の絶えない盛り上がりとなり、卒業生への感謝と労いの気持ちを共有する良い時間となりました。今年度は懇親会を花月苑にて「壮行会」として独立開催する形式を採用し、ゴルフに参加しない卒業生や新入会員

も気兼ねなく参加できる場を設けました。アトラクションも好評で、幅広い会員同士の交流が生まれ、青研らしい温かさや一体感を感じる時間となりました。今年度最初の事業で不慣れな点もありましたが、皆様のご協力により無事に実施できたことに深く感謝申し上げます。

参加者

ゴルフ 十六名
壮行会 十七名

優勝者

浅井 学 様 (山本 友紀)

◆夏季ゴルフコンペ

二〇二五年七月二十六日(土)、長岡カントリー倶楽部にて夏季ゴルフコンペを実施いたしました。当日は気持ちの良い晴天ではありましたが、暑い時には三十五度を超える猛暑のなか、参加していただいたOB会員の方々や、運営にご協力いただいた現役会員の皆様のお陰で事故や熱中症にならずに行う事ができました。



表彰式は例年と会場を変更し、ホテルニューオータニ長岡で行いましたが、ホテルならではの清冽とした空気感の中、盛大に執り行うことができました。また、長岡カントリー倶楽部様と

ヨネックス様よりご協賛を賜り順位賞の拡充を行う事ができ、ご参加いただいた皆様に楽しんでもらえたのではないかと思います。OB会員との交流は当会にとつて貴重な機会であり、大変意義のある事業となりました。運営にご協力いただいた皆様に心より感謝申し上げます。

参加者

ゴルフ 三十七名
懇親会 三十八名

優勝者

南 直樹 様 (高坂 滯也)

◆屑鉄集め

二〇二五年九月二日(火)「屑の日」に、「屑鉄集め」を実施いたしました。今回で四十三回目を数える本事業は、循環型社会の実現と地域に根差した助け合いの精神を実践するため、当会のネットワークを駆使して資源を回収し、その収益を地域の福祉施設等へ寄付する活動です。当日は六台のトラックで二十名の会員

が参加し、(株)横山銅鉄店様を受入場所として回収作業を行いました。参加者同士の緊密な連携と精度の高い分別作業により、限られた時間の中でも事故や怪我なく、極めてスムーズかつ安全に作業を完了することができました。昨今では「SDGs」という言葉が一般化していますが、それより遙か以前から継続してきたこの取り組みは、ものづくりの工程で生じた余剰が地域福祉へと還元される「本物の循環」であり、その価値を改めて会員一同で再確認する機会となりました。

近年、鉄の買い取り価格が変動する中、本活動が地域福祉の向上と持続可能な資源循環に寄与し続けているのは、当会の活動にご理解を賜り、貴重な資源を提供してくださった提供企業様、ならびにトラックの提供や回収作業に汗を流した会員の皆様のおかげです。厚く御礼申し上げます。

参加者

屑鉄提供企業三十四社・二団体
長岡鉄工業青年研究会 会員 二十名
(佐藤 邦宏)



◆新町ものづくり
ワークショップ

二〇二五年九月九日(火)に長岡市立新町小学校にてものづくりワークショップに出店しました。

モノづくりの楽しさと技術の魅力を伝え、子供たちの創造力と協働の楽しさを学んでもらう事を目的とし、今回は研磨加工を体験してもらいました。オリジナルのステンレス製フォトフレームをウエスと研磨剤を使って磨くという一見地味

な作業ですが、実際に手を動かすことで仕上りの驚嘆や職人のこだわりを体感できたと思います。児童たちは黙々と作業に没頭しながらも、完成品を手にした瞬間には誇らしげな表情を見せており、単なる工作ではなく、自分の手で仕上げるこの意味を知る場となったことは、教育的にも大きな価値があると思っております。

参加者

新町小学校児童 第一クール 六名
第二クール 七名
長岡鉄工業青年研究会 会員 八名
(田中 祐樹)



◆福祉・児童養護施設

寄付贈呈式

二〇二五年十二月十七日(水)に、ボランティア事業の屑鉄集めで得た浄財を「柿が丘学園」様、「もみの木工房」様、「双葉寮」様に物品として寄付を行いました。当日は、各施設の皆様に温かくお迎えをいただき贈呈式を滞りなく執り行う事ができました。三施設の皆様からは、寄贈品により生活や環境の改善、向上に役立つとの言葉を頂戴し、当会の活動が社会福祉施設および地域に確かな形で貢献できていることを実感いたしました。また、贈呈式に伴い各施設に訪れた際、施設を利用している方々の日々の生活に触れ、継続的な支援の必要性を改めて再認識いたしました。来年度以降も伝統事業として、より良い支援につながる活動を続けてまいります。

(高坂 滯也)



事業報告

まつり委員会

委員長 井上 航
今年度、高尾会長の活動方針「つなぐ」のもと、まつり委員長を務めさせていただきました。昨年度、私はまつり委員会の担当副会長という事で、当会の神輿幹事として神輿協議会に参加し他団体との連携を図る立ち位置を経験したため、今年度はその経験を活かし意欲的に活動してまいりました。



事前準備として昨年度に製作した神輿台車にLEDテープを取り付け夜間の視認性を上げ安全性を確保しました。また、台車の高さ調整にて運搬作業の円滑化を行い、馬を

乗せるブラケットを製作したことにより神輿渡御終了後の後片付けに携わる人員を削減できました。神輿渡御としては、一番目立つ事ができるであろう大手通り交差点を二回通りたいと思い、神輿渡御の経験豊かなOB会員に事前に相談し、設営メンバーとの入念な打ち合わせの甲斐あってルート変更を行い、大手通り交差点を二回無事に通過する事ができました。

当日は、限られた現役会員数ではありませんでしたが、神輿渡御に対しても経験豊富になつてきたベテラン勢と、若手会員は個々の役割を把握して行動し設営を始



迎える事ができ、多くのOB会員と一般の方々からご参加いただきました事、誠に感謝申し上げます。

来年度は青研発足五十五周年となり、神輿渡御は三十回目という節目の年を迎えますので、今年度の活動方針「つなぐ」を未来栄光のテーマとして神輿渡御を繋いでいく必要があると思います。

最後に、まつり委員長は誰でも務められる役職ではないと思います。会長、副会長、会員からの信頼を受け、OB会員と

めました。当会の神輿幹事の村山副会長は協議会法被を身に着け各団体との連携を図り神輿の先導を、池田副会長は村山副会長と合図のやり取りを行い青研神輿の舵取りを行い練り歩くことができました。そして、神輿渡御と言え最後は大手通り交差点に各神輿団体が集まり、神輿の上に会長と委員長が立つ静止採みを行うのですが、同期の高尾会長と神輿の上に立てた事は長年の青研活動の中でも心に残る思い出となりました。

歴史ある青研神輿を繋いでこられたOB会員の皆様をはじめ、ご協賛いただきました企業や関係各所のご協力あつて当日を



の絆を必要とし、当日は百名以上の参加者を纏め上げなければなりません。その様な要職にて一年間活動できました事、心より嬉しく思っております。

長岡まつり平和祭慰霊神輿渡御参加者

- 長岡鉄工業青年研究会 二十七名
- OB会員 七十六名
- 一般参加 百二十五名
- 長岡鉄工業青年研究会 会員 二十二名
- 参加者合計

事業報告

五十五周年準備委員会



委員長 **清水 一裕**

五十五周年準備委員会では、次年度に開催される五十五周年記念事業に向け、各種準備を進めてまいりました。記念式典の会場選定をはじめ、余興内容の検討、会場費および諸経費の見積り取得などを行い、事業実施に向けた基盤づくりを進めてまいりました。また、五十五周年記念製作品については、複数案の提案および試作を実施し、本製作に向けた具体的な準備を行うことができました。今後は、これまでの検討成果を活かし、実施に向けた計画の具体化を図ってまいります。

引き続き多くの準備が控えておりますが、皆様と力を合

合わせ、次期会長を中心に記念事業を支えていければと考えております。

最後になりましたが、各種打ち合わせやご相談にご対応いただきました皆様、心より感謝申し上げます。今後とも変わらぬご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

◆中越地区三団体交流会

二〇二六年二月二十日(金)、ホテルニューオータニ長岡にて中越地区三団体交流会が開催されました。当日は、小千谷鉄工電子協同組合 木曜会、柏崎青年工業クラブ、当会より合計三十二名が参加しました。

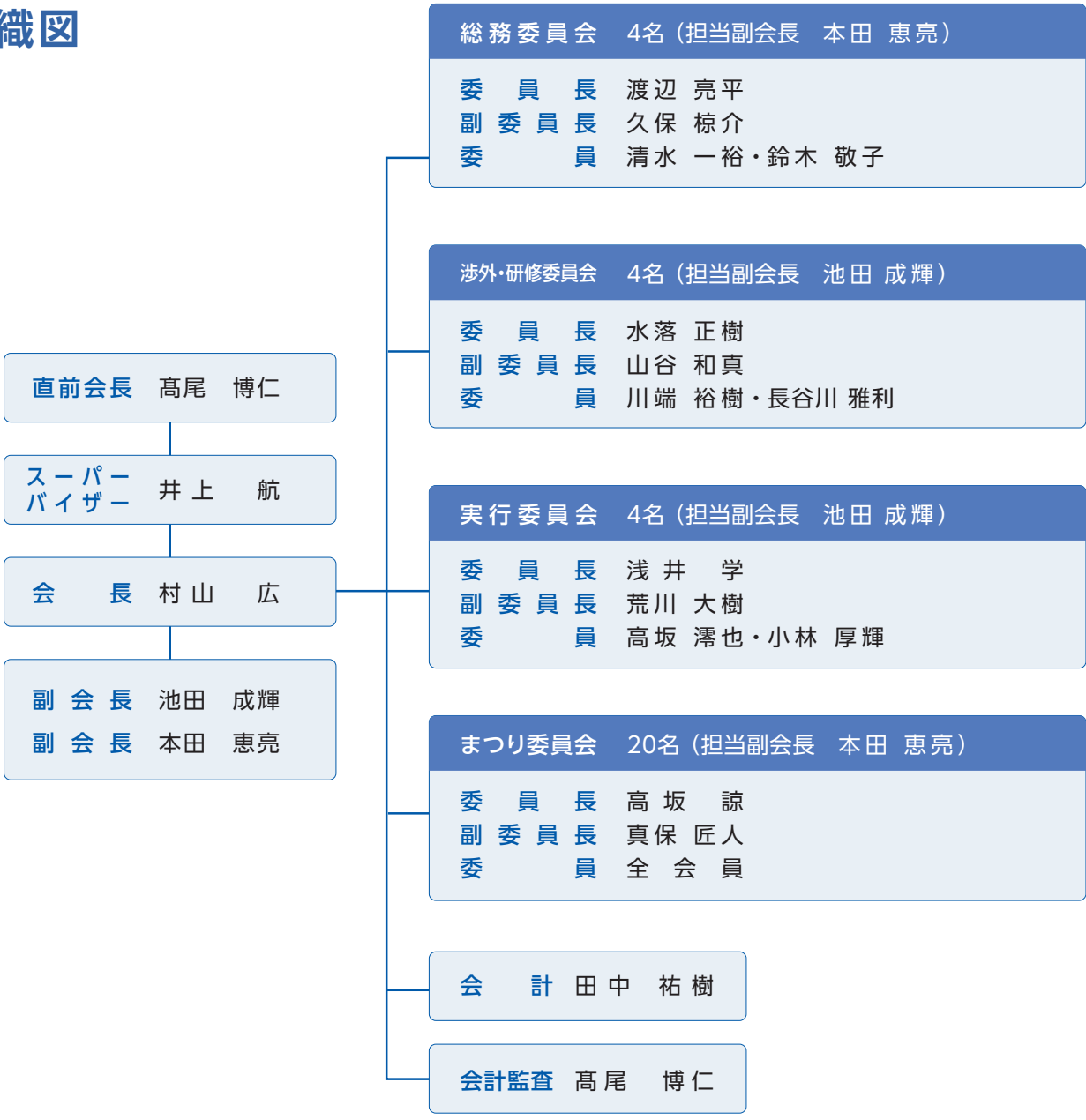
本交流会では、各団体・各企業間で日頃の取り組みや課題、成功事例について意見交換を行い、情報の共有と地域内の新たな関係性を構築することを目指しました。

当日の交流を通じて、業界や地域に関する幅広い知見を得ることができ、今後の事業活動や地域連携に役立つ示唆も多く得られました。交流の間には親睦を深める場も設けられ、参加者同士の連携がさらに強まる有意義な時間となりました。今回の経験を今後の活動に活かす、引き続き地域産業の発展に寄与してまいります。

ご参加いただいた皆様深く御礼申し上げます。

(清水 一裕)

2026年度 長岡鉄工業青年研究会 組織図



新入会員のご紹介

2026年度4月入会



川端 裕樹 (かわばた ひろき) 1992年2月23日生
株式会社 アルモ
〒940-2045 長岡市西陵町2674番地29
TEL 0258-46-0606 FAX 0258-46-0607



祝ご卒業



猪俣 洋志
株式会社
アクセルコーポレーション



佐藤 邦宏
株式会社
nitolex



高井 侑哉
株式会社
松縄文五郎商店



山本 友紀
株式会社
山本製作所

(以上 4名)